

地域開発委員会事業計画

委員長 小池 貴宏
副委員長 青木 健
副委員長 佐藤 学
運営幹事 久保田喜隆
会計幹事 岡庭 健吾

【基本方針】

本年北陸新幹線が開業します。北陸の玄関口となる上越妙高駅と4方向に延びる在来線は、観光面や産業面などにおいて様々な可能性を秘めています。しかし東京から金沢までの沿線自治体と比較しても、上越市に絶対的な優位性を感じられません。上越観光の可能性を広げる為には、来越者を迎える私たちの既成概念を変え、近隣地域の催事や季節的な魅力とリンクさせた広域観光という形で、上越妙高駅に下車して頂く働きかけも必要です。

当委員会は上越を目的地として訪れて頂く新たな切り口として、第2の目的地＝セカンドデスティネーション（SD）運動を行ない、下車を誘発し魅力を感じて頂きリピーターとして来越頂く働き掛けを行ないます。まず公開委員会として地域内の観光関係者の皆様と現在誘客を図る為に行なっている活動の共有と、SDについて意見を頂く会議を開催します。その上で2月例会にて市民に対しSDとした経緯と肯定的に捉えて頂く為の事例を示し、諸団体と連携した年間SD事業の発表を行ないます。そして3月の新幹線開業時は上越妙高駅で行政と連携をとり、上越市民とともに開業の喜びを表現し乗降客のおもてなしをします。次に1年を通してSDとして選択して頂く為に、沿線地域の行事やイベントを活用した上越の魅力の告知媒体を製作して県外でPRしつつ、リピーターとして来て頂く仕組みを構築します。そして上越オクトーバーフェストinはすまつりでは、市民や各区と協力し広域からの来場者を歓迎する事業を継続開催します。またRINX-4の同志が互いの強みを活用し合うための交流事業と、20周年記念事業を主体的に開催します。

これからの地域活性には遠方からの来越者増加は必須です。まずは上越へ立ち寄って頂く仕掛けから始め、魅力を体感し、リピーターとなることでいずれ第1の目的地として選定頂けます。来越者の増加は地域開発の要であると確信し、SD運動を推進して参ります。

【委員会職務分掌】

1. 会員拡大への協力
2. 2月担当例会の実施と報告
3. 北陸新幹線開業イベントの実施と報告
4. 上越PR事業の実施と報告
5. RINX-4 交流事業の開催
6. RINX-4 20周年記念事業の開催
7. 上越オクトーバーフェスト2015の実施と報告